

No. 24

Dec. 2008

“あ”はすべての原点、“そ”は蘇生。
阿蘇は原点に返って復活する場所。

素顔の阿蘇に触れ、
自分自身を探してみませんか。

素顔の**阿蘇**を探す旅。

阿蘇大陸

ASO Continent



阿蘇大陸



“背戸屋”の時は、 ゆつくりと流れる 小国町・杖立温泉

古くから、良質の温泉地として栄えてきた小国町の杖立温泉。
たなびく湯煙の下には、昔も今も変わらない、
地元の暮らしが息づく背戸屋（せどや）と呼ばれる路地裏がある。





その先に、何がある？

旅館や店の間の細い路地に足を踏み入れるとすぐ、道は左右に枝分かれし、またその先も枝分かれ。迷路のように規則性のない路地裏に、ムクムクと好奇心が湧きあがる。ひよつとして、人の家に入り込むかも？」と思いながら歩を進めると、「この三差路にはさつきも来たぞ」と驚かされた。立ち並ぶ家々は、どこからどこまでが一軒なのかわからない。一階だと思つて上がった部屋が実は二階だったりする。建物の周囲を這うパイプも、太かったり細かったりと規則性がないままあちこちに延び、軒先で湯煙を吐き出している。古びた看板、ペンキのはげた木枠のガラス窓、無造作に並べられた植木鉢、開け放したままの勝手口、のんびりと歩く猫。杖立に残るのは、古き良き時代の面影。住まいにも心にも垣根をつくらぬ地元の人々が住む。そして、真つ



肥後藩の六代目藩主は参勤交代の折に杖立温泉に逗留し、天領日田を經由して中津から船で江戸へのぼった。殿様のお風呂は現在、御前湯という名の共同浴場となっている。



杖立には2軒の薬師堂がある。杖立薬師堂(左)の隣には生目八幡があり、目の悪い人がお参りに来るそうだ。湯鶴地区の東林瑠璃堂(右)の下は「薬師温泉」という共同浴場。





3



1



4



2



6



7



5

『みちくさ案内』の申し込み方法

申し込み先：杖立温泉観光協会／0967-48-0206

参加費：1人500円

※事前申し込みが必要です。詳しくはお問い合わせください。

①杖立温泉全景。②杖立温泉観光協会近くにある足湯。散策後の休憩にもぴったり。③④杖立温泉街の西の端にあるもみじ橋の上には、願いを込めたたくさんの絵馬がかけられている。⑤杖立温泉は、源泉が100度近い高温のため、蒸気を利用した蒸し場があちこちにある。⑥⑦タオルと蒸し玉子は、『みちくさ案内人会』にガイドを申し込みもらえる。Tシャツや帽子などに印刷されたロゴは一般公募で採用。蒸し湯である「箱湯」の上に乗る左側が「杖じい」、右側が「健康オタク」の「丈くん」。実はこれ、3人の応募者の作品を、審査員だった日比野克彦氏の提案によって合体させてできあがったもの。



①伊津見純子さん(左)と渡邊誠次さん(右)。②気功を指導する純子さん。この日は、北九州から小国町の農家民泊に訪れていた中学生が参加。深く呼吸しながらゆっくりと体を動かす体操は、大自然のパワーを全身に吸い込んだような爽やかな気分になれる。観光客も自由に参加できる。

Column.1

ゆったり泊まって癒されよう ～杖立の湯

平安時代の初めにこの地を訪れた弘法大師空海は、温泉の効能に感動。持っていた竹の杖を立てると、節々から枝や葉がはえてきた。この伝説が「杖立」の名前の由来だという説がある。良質の天然温泉を楽しめることはもちろん、100度近い源泉温度を利用した「蒸し湯」が有名。



※旅館、立ち寄り湯の情報は杖立温泉観光協会へ0967-48-0206。写真は、米屋別荘の露天風呂(上)と日田屋のバラ風呂(下)

白な湯煙が迎えてくれる。文字通り「温かい」街だ。

人を楽しませたい

杖立川をはさんだ豊かな自然と温泉という魅力のほかに、「今、裏の魅力も少しずつ人氣を集めているんです。そう語るのは、旅館・白水荘の若主人であり、杖立温泉街の『みちくさ案内人会』のメンバーでもある渡邊誠次さん。『裏の魅力』とは、立ち並ぶ温泉旅館や店、住居の間に迷路のようにつながる『背戸屋』と呼ばれる路地裏

のことだ。一人で歩いても楽しいが、案内人とともに歩けば、杖立の古い歴史や、路地裏のさらなる魅力を発見できる。『背戸屋祭り』というお祭りもやっているんです。最初は地元だけが楽しむものでした。でも、自分たちには元来、「お客さんを楽しませたい」という気持ちが染み付いているんですよ。これまでに、川に面した「表」がメインだった杖立。『背戸屋』という裏のおもしろさを多くの人に知ってもらいたいと、『みちくさ案内人会』を発足させたのだと渡邊さんは話す。

「案内人が一緒に歩くことで、この地域独特の生活文化にある小さな魅力もお見せできます。杖立は狭いんですが、他の地域にない狭さゆえのおもしろさがあるんですよ」

小さいことは美しい

「Small is beautiful. (小さいことは美しい)。これは、小国町の前町長さんが口にしていた言葉で、杖立にぴったりの氣に入っているんです。渡邊さんの横でそう語るのは、伊津見純子さん。渡邊さんと



(右)伊津見純子さんが営む喫茶ジュンの入り口。(中)旅館白水荘のオリジナルプリン「あんプリン」を持つ若女将、渡邊洋子さん。散策途中には、地元の人こんな笑顔にも出会える。(左)喫茶ジュンの手打ちそば 900 円。純子さんのお兄さんが手打ちする本格そば。

同じく『みちくさ案内人』の一人で、杖立温泉街で雑貨店と「喫茶 ジュン」を経営しながら地元を盛り上げる杖立の元氣印だ。「階段の下に、昔の石畳が隠れています」。「こんな小さな広場で背戸屋祭りをやるんですよ。一度、行政の方たちが大勢来た時は、えらいことになりました」。案内中も、純子さんの話に笑い声が絶えない。

「杖立のように狭いと、地元の人の良さにも気付いてもらえるでしょう。私も、人と接するのは大好き。」私に会いに杖立に来て！「って大きな声で言いたいほど」と笑う。周囲をみな笑顔にするパワーを持った彼女に会うために、杖立温泉を訪れる人も少なくない。

そんな純子さんのパワーの源は、氣功体操『易筋功（えつきんぎょう）』だ。杖立温泉は少林寺拳法発祥の地である中国河南省と交流があり、純子さんは少林寺の武僧が作った杖立オリジナルの氣

Column.2

竹細工とペーパーアート

杖立温泉には以前、15 人もの竹細工職人がいた。現在、竹細工工房は 2 軒。また、ペーパースクリーン版画を手がけるアーティストも在住。



竹工芸のふるや工房。ご主人高村孝志さん(右)とその作品。高村さんの作品は、杖立温泉の旅館でも使われている。もみじ橋にかかる絵馬も制作。



もう一軒の竹細工工房。ご主人の川述一男さんは、しゃもじや弁当箱を作っている。奥さんが店番をする杖立川沿いにある店で購入できる。



路地裏の一角にペーパースクリーン版画の工房を構えるかいみほさんと愛猫。かいさんの絵はとても穏やかで、見てしていると優しい気分になる。

魅力満載の杖立温泉

年に一度の『鯉のぼり祭り』や『温泉まつり』ほか、竹のオブジェの明かりで街を彩る『竹あかり』や『杖立プリン伝説プロジェクト』は通年で楽しめる。今年、別府、武雄温泉とともに『三湯物語』もスタートした。



毎年4月初旬から5月中旬に開催される「鯉のぼり祭り」。杖立川を色鮮やかな鯉のぼりが埋め尽くす様は圧巻。

5月に開催される『温泉まつり』では芝居小屋が設置され、地元の男性たちが4本の本格時代劇を演じる。なんと80年も続く伝統の舞台。ここにも、「人を楽しませたい」という気持ちを受け継がれている。



『杖立プリン伝説プロジェクト』では、小国産の材料を使ったオリジナルのプリンが、温泉街の20軒の旅館や店で味わえる（裏表紙参照）。写真は米屋別荘のディスプレイ7種類。

『杖立プリン』の仕掛け人、河津順也さんは、165年続く旅館の17代目。「プリン」は、小国の特産品であるジャージー牛乳と蒸し湯という杖立の文化のコラボ。コクのあるジャージー牛乳の風味を生かすため、甘味料などはあまり使わず、素材の味を引き立てています」



功体操を受け継ぐインストラクターなのだ。毎朝午前9時、『易筋功』のBGMが温泉街に流れると、杖立橋の上で体操が始まる。「気功は少林寺拳法の準備体操。ゆっくりとした動作と呼吸で全身に血と気を巡らせ、内臓や足腰の疾患などの自己治癒力を高めます。だから、いい空気の中でやるのが絶対条件」と純子さん。杖立温泉の旅館では薬膳料理も提供し、気功体操とあわせた「健康の里づくり」も進めている。

一番の魅力は人

杖立温泉は、千八百年以上の古い歴史を持つ。昭和の高度成長期頃には、観光客が引きも切らずに訪れていた。「今は、その頃の勢いはありません。でも、その賑わいを取り戻そうとしているわけじゃないんです」と渡邊さん。まずは、今ある杖立の魅力

を多くの人に楽しんでもらいたいという思いが一番だと言う。湯煙のあがる風景や『晋戸屋』の情緒、昔から続く温泉を利用した蒸し湯など、杖立独特の文化を大事に守っていれば、飾らない素朴さがおのずと温泉客も呼ぶだろう。杖立をふるさととする人々が地域を誇りにし、かつ、そこにしっかりと根を張って暮せれば言うことはない。「子どもたちが杖立を“受け継ぎたい”と思える地域にしないと」。そう語る渡邊さん

んの横で、「杖立の子も、そうでない子もみんなかわいいから」と純子さん。太陽のよな笑顔にこちらも引き込まれる。

温泉、自然、路地裏……。杖立の魅力は数々あれど、その最たるものは人だろう。「あの人が会いに杖立に行こう」。そう思わせる杖立は、人が人を惹きつける土地だ。

杖立プリン伝説プロジェクト

その昔、杖立には温泉蒸気を利用してつくる甘味『甘玉子(あまたまご)』がありました。それが今、プリンとして復活。工夫を凝らしたオリジナルの味を食べ比べてみませんか？サインは、店舗や旅館入口にある「杖立プリン、あります」の立て看板です。



あんプリン  ① 白水荘 TEL.0967-48-0321	黒胡麻プリン  ② むらせ TEL.0967-48-0311	楊貴妃プリン  ③ 葉隠館 TEL.0967-48-0246	よもぎプリン  ④ よろづや TEL.0967-48-0105	昔プリン  ⑤ Dホール TEL.0967-48-0484
湯煙りプリン  ⑥ 喫茶ジュン TEL.0967-48-0250	豆乳プリン  ⑦ 夕野屋 TEL.0967-48-0026	プリンカタラナ  ⑧ Café プクプク TEL.0967-48-0388	山荘女将の ほろにがプリン  ⑨ ふくみ山荘 TEL.0967-48-0121	小国米のプリン  ⑩ 長栄荘 TEL.0967-48-0095
揚げプリン  ⑪ 日田屋 TEL.0967-48-0082	ごぼうプリン  ⑫ やまがや TEL.0967-48-0338	女将の 気まぐれプリン  ⑬ わかのや TEL.0967-48-0031	ほくほくからいも プリン  ⑭ 新ひたや TEL.0967-48-0097	まんぷくプリン  ⑮ スナックボン TEL.0967-48-0030
ミルクプリン  ⑯ お宿丸正 TEL.0967-48-0052	ほうじ茶プリン  ⑰ 泉屋 TEL.0967-48-0021	杏仁プリン  ⑱ アウル TEL.0967-48-0260	ティラミス風 チーズプリン  ⑲ 米屋別荘 TEL.0967-48-0507	きくいもプリン  ⑳ 五風十雨 TEL.0967-48-0858

